

“相生市のクロコノマチョウ（その1）”

1988年6月4日、梅雨の合間を縫って相生市矢野町三濃山へ出向いた。今日は米村氏が最近発見したミスジチョウとヒメコブヤハズカミキリをターゲットにして羅漢の里より鍛冶屋川沿いに一路三濃山へと辿った。途中杉林の切れたところにさしかかったところで何か蛾のごときものが路傍のススキに飛来し、葉裏に静止した。よくみると蝶のようでもあり、産卵の態勢にあるように見えたため観察することにした。あれ、クロコノマとちゃうかいなと半信半疑眺めていると、ジャノメ特有の飛びかたでチョンチョンと迎いを徘徊初めネットを出すまも無いうちに山の上方に飛び去ってしまった。惜しいことをしたなと諦めきれない気持ちのまま、前日来の豪雨で道路も荒れ、蝶影も少ないためコースを中断し羅漢の里で1時間ばかり過ごす。またぞろクロコノマが気になり、目撃地へとって返し、ススキに産卵していないかと捜していると当初の目撃地より約20メートル上流の橋のたもとでクロコノマを再発見。今度こそはとネットを構え、見事ネットインする。当地方における越冬後の成虫（1♀）採集は少ないのではなかろうかと思い、念のため採卵に挑戦してみた。

採卵の結果は次の通り；

6月5日よりジュズダマ（ススキ科）にて採卵する。

6/ 5 14卵、 6/ 6 15卵、 6/ 7 9卵、 6/ 8 17卵、 6/ 9 23卵、
6/10 12卵、 6/11 0卵、 6/12 0卵、 6/13 3卵、 6/14 3卵、
6/15 8卵、 6/16 0卵、 6/17 0卵、 6/18 0卵、 6/19 29卵、
6/20 42卵、 6/21 0卵、 6/22 0卵、 6/23 死亡。

（計：175卵を得た。）

尚、この日目撃した蝶は、

ナガサキアゲハ、モンキアゲハ、アオスジアゲハ、ヒメウラナミジャノメ、アサギマダラ、ムラサキシジミ、アカシジミ、コムスジ、テングチョウ等でターゲットとしたミスジチョウは残念ながら未確認に終わった。

《1988.6 唐土 洋一》